

平成31年3月31日

赤穂市長 宛

福浦コミュニティセンター管理業務事業報告書

福浦コミュニティセンター

運営委員会 会長 大河 英雄



平成30年度福浦コミュニティセンターの管理業務について、別紙のとおり報告する。

記

- (1) 管理業務の実施状況及び利用状況
- (2) 管理業務にかかる経費の収支状況



管理業務の実施状況及び利用状況

利用団体の区分	利用件数	利用人数
スポーツ団体、文化団体等	331件	3,895人
自治会・婦人会・老人クラブ等各種団体	79件	765人
その他の団体及び行事	30件	660人
合 計	440件	5,320人

平成30年度 福浦地区コミュニティ・センター 会計報告書

収入の部

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
市委託料	1,141,510	福浦地区コミュニティセンター管理委託料
雑収入	6	預金利息
合 計	1,141,516	

支出の部

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
電気代	602,158	
ガス代	36,811	
水道代	24,924	
消耗品費	71,213	トイレットペーパー、蛍光灯電球、インク、用紙等
NHK聴取料	14,910	
会議費	3,500	御茶代
管理費	388,000	トイレ掃除、グラウンドの草取り、法面の草刈等
合 計	1,141,516	

上記の通りご報告申し上げます

平成31年3月31日

赤穂市立福浦地区コミュニティ・センター運営委員会

会長 大河 英雄



平成30年度 指定管理者管理運営事業評価シート

1 評価対象施設

公の施設の名称	赤穂市立福浦地区コミュニティ・センター				
所在地	赤穂市福浦4050番地				
指定管理者	団体名	赤穂市立福浦地区コミュニティ・センター運営委員会	指定期間	開始日	平成30年 4月 1日
	所在地	赤穂市福浦3579番地		終了日	平成33年 3月31日
選定方法	非公募		評価実施年	指定期間 3年のうち 1年目	
施設設置目的	赤穂市福浦地区の住民が連帯意識を高め、人間性豊かな地域づくりと住民福祉の増進を図る。				
主な実施事業	赤穂市立福浦地区コミュニティ・センターの管理・運営				

2 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	目標	H30実績	目標	H31実績	目標	H32実績
a	利用者数	人	5,000	5,320	5,000		5,000	

3 指定管理業務にかかる収支状況

区 分		平成30年度決算	平成31年度予算	平成32年度予算
収入計	A	1,141,516	1,152,870	1,152,870
	指定管理料	1,141,510	1,152,870	1,152,870
	その他	6	0	0
支出計	B	1,141,516	1,152,870	1,152,870
	事業費	1,141,516	1,152,870	1,152,870
	内、人件費 C	388,000	392,640	392,640
事業収入	A-B	0	0	0
人件費率	C/B	34 %	35 %	35 %

・支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
 ・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。

補足説明	
------	--

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
① サービスの履行	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
		個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B
	情報公開	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	B
		情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
	管理記録	協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
		業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
	連絡調整	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
		協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
緊急対応	市、関係団体等との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	B	B	
	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B	
財務状況	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	B	B	
	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	①サービスの履行に関する評価	B	B	
② サービスの質	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免、還付等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	A
	事業運営	言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
		事業計画に即し、必須事業を実施している。	A	A
	維持管理	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
		仕様書等に従い、維持管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
	環境配慮	協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
		省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。		B	B	
事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B	
	利用者の利便性向上を図るため、自己評価を実施し、利用者等に公表している。	B	B	
提案事項	指定管理者の提案事項については、市と協議し、提案のとおり実施している。	B	B	
利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	B	B	
総括	②サービスの質に関する評価	B	B	
③ 安定性	経理事務	専用の口座等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
総括	③安定性に関する評価	B	B	

所見 (成果、課題等)	【自己評価】 高齢者大学や卓球、バレーボール、社交ダンス等地域住民の教養、健康を増進する場として多くの方に利用され、地区の人口減少、高齢化が進む中でも、前年度並みの利用数を保つことができています。 今後とも、管理運営基準や基本協定書の趣旨、内容を順守し、適切な管理に努めていきます。		
	【所管評価】 福浦地区コミュニティセンターは、福浦地区の各種スポーツ団体、文化団体の活動の場として、また自治会や老人会、PTAなどのまちづくり団体の集会場として必要不可欠な施設である。 平成18年以来、地元の各まちづくり団体からなる管理運営委員会によって適切な管理運営がなされていると認められ、利用者からの苦情等も受けていない。		
前年評価	—	総合評価	B

※評価基準

自己評価・所管評価	A	優良	協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
	B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。
総括	A	優良	評価項目の評価が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	評価項目の評価の内、Cが1割以上含まれる。
総合評価	A	優良	自己評価、所管評価の「総括」にCが含まれず、かつAが過半数以上ある。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	自己評価、所管評価の「総括」にCが2つ以上含まれる。